

北山エリア整備基本計画等に係る説明会 質疑回答(11/8 京都学・歴彩館)

	意見・質問	回答
1	<p>シアターコンプレックスの賑わい交流施設について、今年度の委託業務の公募時には、まだ決定していないが、借地方式で民設民営と読み取れた。その中で、賑わい交流施設はプロムナードの西側、南北の通りに5階建てになっているが、中身がほとんど書かれていなかった。また、委託業務の公募時の質疑回答では、事業者公募時に提案を求める予定であり、現時点で確定した整備内容はないという回答である一方、コンベンション、宿泊、飲食を作られると思うが、あくまで北山エリア構想の一環として作られるということで、コンベンションの規模、ホテルの部屋数やグレード等、現時点で京都府として賑わい交流施設をどのように考えているのか。具体的な方向性や中身があれば聞かせていただきたい。</p>	<p>総合資料館跡地について、京都府としては、500～600席程度の劇場を中心とした文化芸術の発信の機能を整備したいと考えております。併せて、賑わい交流機能の整備を考えており、内容については、官民連携手法の一つとして、民間事業者から提案を受け、第三者委員会等にも諮りながら、エリア全体の機能としてふさわしいものを選考してまいりたいと考えています。</p> <p>基本計画では、例示として、コンベンション、宿泊、飲食などを挙げていますが、これ以外でもこのエリアの機能として親和性が高く、ふさわしい機能を提案いただいた場合には、幅広く検討した上で決めていきたいと考えているところです。</p>
2	<p>ハコモノ整備や次世代への負担増大に憤りを感じている。かつて、この辺りは府立大学の農場であり、植物園はかなりの規模がある。研究成果として表れているが、緑地機能は空間規模が大きいほどよく、小さくすることはよくない。この規模では、二酸化炭素の吸収等は難しいが、どのような議論をして、緑地を潰していくことになったのか。</p>	<p>基本計画では、植物園を中心にその植生や景観については、十分配慮の上、整備を行い、また北山エリアにおいて植物園の緑を広げていくこととしており、緑を削減する計画ではありません。</p>
3	<p>今回の整備計画は対立関係になっている。 なぜ今ハコモノ整備をするのかという質問があったが、百年前の人口は5千8百万人であるが、百年後の人口は4千万人を割り、誰も管理できないものになる。植物園に一番求めているのは、都会にありながら誰もいないような空間があると癒されるということであり、おそらくそれが多くの方の反対意見になっていると思う。 誰がこの計画を立てて、どういう説明をしてきて、こういう反対運動になっているのか、なぜ齟齬が生じたのか、説明していただきたい。</p>	<p>なぜ齟齬が生じたのかという質問にお答えすることは非常に難しいが、本日の説明会も含めて、皆様方のご意見をお聞きし、これから整備をしていくというスタンスであります。本計画の策定時にはパブリックコメントを含め様々なご意見を頂戴し、概念をイメージ図としてまとめましたが、それに対して、これまで多くの反対の声があることは理解しております。</p> <p>しっかりと住民の立ち位置に戻り、今後どのようにしていくのか、議論していきたいと考えており、今回の説明会を設定したところです。</p> <p>基本計画の中でエリアコンセプトとして、「憩いの緑と躍動するまちが融合した『文化創造の森』の創出」と記載しており、植物園の緑が広がり各施設が木々の緑の中に佇む空間を創出していくという認識を持っておりますが、どのように具体化していくかが今後の課題と考えております。</p>
4	<p>本日の説明の中では費用面が説明されていないので、どれぐらいかかるか知りたい。 京都府民でありながら、京都市民という立場から申し上げますと、京都府は多額の費用をかけて整備をしようとしているが、京都市は財政状況が厳しく、色々なサービスが縮小されてきている。京都府に財源があるなら、京都市に回してほしい。 植物園の出入口がオープンになるのであれば、非常に問題がある。今は植物を好きな人が入園料を払っていることで、安全な場所として、家族で花を見ながら芝生で遊んだり、憩いの場になっているが、出入口のゲートを全部無くし、どこからでも入れるようになると、公園になってしまう、植物が守れなくなる。 また、アルコールの提供や夜に騒ぐことで、防犯上の問題もあると思うが、出入口はオープンになるのか。</p>	<p>所要経費については、現在、必要な施設や設備等を検討しているところであり、現段階で所要額の総額について、お示しできる状況ではありません。</p> <p>植物園の出入口については、将来像の中で、オープンに繋がる空間ということを書いているが、植物園など入園料をいただいている施設は完全にオープンにはできないと考えているところです。この間、植物園に新たに門を2つ作ってきたところですが、現状の囲いは残しながら、部分的にいくつか出入口を作って流動性を高める等について、今後検討していくことになると考えていますが、垣根を完全に取り払ってしまうことを計画に盛り込んでいるわけではありません。</p>

	意見・質問	回答
5	<p>2年ほど前に北山構想の中間的な発表会に出席し、総勢30名に対して、市民は3人ほどであったが、私の席が壁際であったことに対して怒った。旧総合資料館跡地活用等に係る有識者会議のメンバーに民間事業者の方が入っていた。今回の計画もそうであるが、ポテンシャルという言葉が多く出てくる。開発することによって収益を高めることができる、というのが民間事業者が考えているポテンシャルの中身であり、賑わい空間、大型施設、民間活用、住民無視といった4つの問題がある。賑わいに関しては、岡崎や四条界限を見ると、地元の商店は賑わっていない。行政が、府民や市民の後押しをするのは大賛成だが、やっていることは真逆ではないか。今回の計画は多くの内容を含んでおり、説明会の時間が足りない。</p>	<p>説明会については、今後また検討させていただきます。本日が1回目なので、今後どういう形でやるかも含めて、考えてまいります。</p>
6	<p>地元在住であるが、計画にあるように、動線を何とかして多くの人に来てほしいとは1回も考えたことはなく、静かでもいいところだと思っている。なぜ半木の道に入口を設けて、もっと人を入れようと考えているのか理解できない。もう一つの大きな問題は、府立大学の体育館を潰して、1万人規模のアリーナを作ることのメインの計画であり、そのために動線が必要になることである。1万人規模のアリーナを作る予算もはっきりせず、管理はどうするのか。将来的には人口減少も見込まれ、うまくいかなければ、京都府や京都市はどうするのか。民間委託と言われても、民間事業者は逃げていく。この計画が中心にあるから、植物園を中心に動線を計画するということになる。一番根幹にあるのは、府立大学の体育館を1万人規模のアリーナにするということであり、全ての問題が発生している。過去の検討委員会の人選に疑義があり、今後の検討委員会の人選は明らかにすべきではないか。それを出さないのであれば、今日の説明会は何のための説明会なのか。</p>	<p>本日の説明会について、会場の皆様も含めて、基本計画の中身が分からないという声を多くいただいており、丁寧に答えていく場が必要だということで、ホームページで情報を掲載するだけでなく、説明会の場を設けさせていただいたところです。懇話会については、植物園の関係者を中心として、良い植物園を作っていきたいという思いのある方を、選定しているところです。ただ、あくまでも有識者にアドバイスをいただきながら、このような植物園にしてほしいという地元の声も今日いただくと思っております。そうした声をしっかりと聞きながら、専門家のご意見も聞きながら、対立の構造になっている部分はしっかりと説明できるように、今後、時間をかけて議論していきたい。</p>

	意見・質問	回答
7	<p>この計画の中に民間の会社も入ってきている。他の人も含めて人選の経過を明らかにしてほしい。民間企業というのは、儲けのためなら何でもする。これらの会社にいくら渡っているのか。</p> <p>アリーナについて、各スポーツ団体が、体育館の建設を府に求めているがそれと関係はあるのか。府が新たに体育館を整備する事を避けるために、それでまかなってしまうということか。それと、3大学でアリーナを使うといいます。既に工織大は体育館を持っている。何百億円という経費をかけてアリーナを建て、民間の方も使えるようにした時に、果たして実際の大学生が使えるのか。</p>	<p>総合資料館の跡地活用における検討委員会で、民間の方が委員に入っておられたのは、総合資料館跡地活用の一つの方向性として、舞台芸術や視覚芸術の発信拠点があったことから、美術館業務に携わってこられた方の助言をいただくために参画いただいております。決して民間企業の儲けのために連携をしているというご指摘は当たらないと考えております。</p> <p>北山エリア整備の検討にあたり、民間のコンサルティング会社と委託契約を結んでおりますが、公募型のプロポーザル方式により、外部委員の意見聴取を経て、委託先を決定しており、決して民間事業者の儲けのための検討をしているということではありません。予算としては、令和2年度の基本計画策定業務については、約2千万円です。</p> <p>3大学の共同体育館については、この間、教養教育の共同化を進めてきており、それを一歩進めて体育や課外活動についても3大学共同で使えるように検討したところですが、規模については、計画上は1万としておりますが、今後精査が必要と考えており、まだ決まったものではありません。</p> <p>考え方としては、京都は学生の街であり、多くの大学生が様々なスポーツ活動に取り組んでおられることから、学生の街・京都にふさわしい学生スポーツの拠点を府立大学の中に設けることができれば、さらに一層地域の魅力が上がっていくのではないということから、大学の共同体育館の様々な形での利用を検討しているところです。</p> <p>メインアリーナやサブアリーナという形で府立大学のキャンパス内に整備する予定ですが、当然ながら、まずは大学の授業や課外活動で使用し、それ以外の時間帯に、様々な用途で活用するという前提で計画を検討しているところです。</p> <p>額については、まだ明確に出していない状況であり、極力、様々な手法を活用して府民負担を抑えた上で、魅力的な活用ができる方策を引き続き検討していきたいと考えております。</p>
8	<p>植物園100周年未来構想という名称で、未来を謳っているのですが、百年後も見据えて、プランを立てないといけない。小中学生や高校生などが、今日の話も聞いている方がいいのではないかと思います。本日の質疑でなぜこのような齟齬が起きたのかという話があったが、ある自治体の事例で、成果があったものを一つ提案したい。</p> <p>学校で懇話会や議会の様子をそのまま流すということをやっている自治体がある。議会の話をどこまで理解できるか分からないが、地域の子供たちにとって環境問題を含めて、どういう植物園になっていくのかということは、他人ごとではないと思う。</p> <p>民間事業者が儲かっているのではないかという話も出ているが、透明性を出すという意味でも、大人だけでなく、常に子供たちにも開かれているというような懇話会があってもいいのではないかと。</p> <p>それが京都で行われ、植物園が市民や将来世代も望んでいる形になった時、その過程自体が財産になっていく。</p> <p>授業でそういうことを流すようなことがあってもいいのではないかとというのが私のアイデアですが、今ならインターネットもあり、子供たちにも開かれた形でやっていくのはいいと思うが、既に考えているか。</p>	<p>ご提案ありがとうございます。現在、有識者の懇話会を考えておりますが、それ以外にも、子供たちが求めているものなども具体的に聞いていきたいという点では同じ認識を持っている。どのようなやり方になるかは、これから検討させていただきたい。</p>

	意見・質問	回答
9	<p>説明会の開催について御礼申し上げますが、京都府からの説明会の案内文が松ヶ崎にはなかった。近隣の住民と言われるからには、松ヶ崎も入っていると思っており、苦言を申し上げます。</p> <p>植物園が出入り自由になると、多くの人が入ってくるが、例えば動物も出入りするようになる。また、種を盗んだり、花を盗んだりする人も出てくる。</p> <p>現在、宝ヶ池では多くの鹿がおり、出入り自由になれば鹿害が出てくる。鹿は木を食い荒らすので、宝ヶ池の木の周りはネットを巻いて防護している。あと、外来種のアカミミガメやワニガメも出てくる可能性があり、必ず植物園に持ち込まれるはずであり、植物が困ることになる。</p> <p>また、野良犬や野良猫の糞尿による植物への影響は非常に甚大であることを考えると、出入り自由の植物園は考えられない。そういうことを考えずに計画を立てること自体が皆の意見を聞いていないのではないかと思います。</p>	<p>植物園に関して、様々なご意見をいただき、多くの方に愛されているということを改めて感じております。出入口については、イメージ図で矢印が多くあることで心配いただいていると思いますが、決して全てが自由に出入り可能になるということではありません。</p> <p>また、イメージ図はあくまでイメージであり、まだ明確には決まっていない段階です。</p>
10	<p>植物園100周年未来構想に記載のある「終日エリア及びその周辺地域で楽しめる仕掛けの構築」、「エリア内に立地する各施設との垣根をなくした連携」についてはどういうことか。</p> <p>前提として、開園時間の弾力化や柔軟で弾力的な管理運営も記載があり、北山エリア整備基本計画に記載のある「施設の枠を超えて人が自由に往来できる空間づくり」と繋がっているように思う。</p> <p>先ほどの質疑回答では完全に出入り自由ではないとのことだが、部分的に例外があるように聞こえたので具体的に教えてほしい。</p> <p>なぜ、こういう質問をしたかという点、今まで様々なコンサートへ行ったことがあるが、有名なコンサートの場合、多くの人が開演時間までに詰め掛けてくることになり、そういう人を植物園に入れて、夜中でも昼間でも使おうとしているのではないかと思います。</p> <p>植物園に週3回ぐらい行くが、小さい子供や子連れの母親、小学生などが安心して過ごしている。コンサートやイベントがある時に子供らを排除して、イベント優先になることを危惧しているので、もう少し具体的に説明してほしい。</p>	<p>植物園の垣根の話について、決して垣根を全部取ってしまって自由に出入りができるような公園にしてしまうという考え方は持っておりません。</p> <p>垣根を無くしたという書き方をしておりますが、あくまで理念的なものです。冒頭の説明でも申し上げているとおり、入場料を払って入っていただく植物園については、できる限りできないところがあります。いくつか動線や門を増やすことは、今後、検討を詰めていく中であり得ると思いますが、垣根はしっかり維持しながら、周辺との連携ができるような動線を整備していきたいと考えているところです。</p> <p>植物園がコンサートの動線や待機場所になるのではないのか、という懸念につきましては、基本計画の中で、エリア内に南北軸、東西軸を計画しており、植物園の中ではなく、エリア内に動線を設けることを想定しております。決して植物園が、劇場やアリーナの動線となって、誰もが自由に行けるようになるという計画ではないことをご理解いただければと思います。</p>
11	<p>今日の説明会では具体的なことが分からなかった。</p> <p>見直しを求める署名が10万筆を超えたという点、重たいことだと思う。一旦今の計画を白紙に戻して、新たにもう一度考え直したらどうか。植物園の素晴らしさ、地域のことを考える方に意見をいただけるような懇話会にさせていただきたい。もっと住民の意見を聞いて、みんなが納得できる施設を開発してほしい。</p>	<p>今後の整備については、開発しないでほしいというご意見も多く頂戴している一方、様々なご意見をお聞きする中で一定の整備をして、賑わいを作してほしいというご意見もお聞きしているところです。色々のご意見がありますので、大所高所から専門家のご意見をお聞きしながら、計画の検討を深めてまいりたいと考えております。</p>
12	<p>説明を聞いて、植物園の改革や大学の改革が総合資料館跡地に使われていると感じている。キーワードは賑わい。例えば植物園にカフェやレストランを作ったり、イベント用のステージを作ったりしようとしている。</p> <p>大学の研究施設や教室ではなく、大きな体育館を整備するという発想は総合資料館跡地の計画がまずあり、賑わいをキーワードに出してきたと思うが、間違っている。</p> <p>一番の問題は、例えば総合資料館跡地に、500～600人のホールを作っているが、京都学・歴史館もホールがあり、隣接したところに、同じ規模のホールを作ってしまうのか。</p> <p>京都市のコンサートホールにも、大ホールや小ホールがある。</p> <p>全部、賑わい創出というキーワードでなされており、この計画はまず白紙撤回していただきたい。</p>	<p>京都学・歴史館やコンサートホールにもホールがありますが、総合資料館の跡地に想定しているのは、演劇等の舞台芸術を中心としたホールであり、エリア内でコンサートホールはクラシックコンサート、京都学・歴史館はセミナーや講演会のホールなど、それぞれのホールで棲み分けをして、整備する予定です。</p> <p>計画については、今後、幅広いご意見を聞きながらしっかりと議論を深めてまいりたいと考えております。</p>

	意見・質問	回答
13	<p>京都学・歴彩館で学生生活を過ごしているが、学生教員の間で歴彩館は巨大な高級ビニールハウスと呼ばれている。吹き抜けになっているので、大学の研究エリアのある3・4階では、夏は温室のような暑さになる。研究室の窓を開けるのも許可が必要。3、4階の研究エリアから、2階の図書館に行く時に、毎回1階まで降りなければならず、土日は一度屋外に出なければいけないような利便性の悪い動線になっている。綺麗なだけで利便性の悪い、京都学・歴彩館のような施設を作った府と大学に学生は不信感を抱いており、アリーナの計画も、使用する学生のことを考えた発想ではないと思う。学生が学びやすいよう、便利に使えるように整備するのが一番のポイントではないか。大学の施設がなぜ北山エリア計画に使われないといけないのか。</p>	<p>府立大学の建物は、多くの建物が築40年を超えており、全体的に老朽化しているため、建替を急ぐ必要があると認識しております。また、府立大学とともに1法人で運営している府立医科大学の体育館も老朽化しており、過去には授業も府立大学の体育館を使っていたところであり、併せて建て替えることが効率的であると考えております。学生からは、クラブボックスを確保してほしいという声も聞いており、そうした声も踏まえて、学生が使う教育施設であるということを第一に考えながら、今後検討していきたいと考えております。</p>
14	<p>1万人規模のアリーナについて、学生のためとか3大学のことばかり言われるが、ハンナリーズはどのように関わっているのか。それが核ではないかと思っており、そのために府立大学と植物園が犠牲になることはとんでもない。また、植物園の正門へのアプローチであるケヤキ並木の横の府立大学のグラウンドの景観も守ってほしい。</p>	<p>アリーナの様々な活用の方策を探る中で、ハンナリーズと意見交換はしていますが、現段階で方向性等、決まったものはないところです。</p>
15	<p>質疑回答では検討すると言っているが、次はいつやるのか。専門家だけでなく、子供も含めた普通の市民が意見を言えるタウンミーティングを作りたいと私達は思っている。説明会で聞いた意見を具体的にどうフィードバックしてくれるのか教えてほしい。勝手に検討してほしいわけではなく、対話をして、一緒に計画を作りたいので、具体的に次はいつ、どのようにやるか、教えてほしい。</p>	<p>今日、明日と初めて説明会をさせていただきますが、それ以外にも色々な方のご意見をいただかなければいけないと思っております。本日いただいたご意見はしっかりと残し、まずは情報開示をしていきたい。本日の説明会の内容をホームページ等で報告し、その後どのようなことができるか、検討したいと考えております。</p>
16	<p>植物園については入場料を取る施設なので、垣根をすべて取り払い、出入りが自由になるものではないという説明があったが、大学は入場料を取る施設ではない。現状でも府大構内でトイレの盗撮等が起こっている状況であるのに、1万人規模のアリーナに大勢の人が来た際に学生の安全を確保できるのか心配している。また、この整備で現在のクラブボックス等の自分たちの居場所や活動場所が無くなり、管理されたところに閉じ込められることを懸念する。</p>	<p>現在、大学では学部学科再編を踏まえ、施設全体の整備計画の検討を行っているところですが、セキュリティは非常に大きな問題であるため、整備に当たっては、例えば、防犯カメラや入退室管理などを検討する必要があります。一方で、府立大学としては、「開かれたキャンパス」という理念でもあるため、教育及び教員の研究をきちんと確保し、防犯面についてもきちんと検討していきたいと考えております。なお、動線をどのように確保していくかについては、北山エリア全体の整備の中で考えてまいります。</p>
17	<p>府立大学に1万人規模のアリーナ、総合資料館跡地に併設するホテル等の施設を作る計画であるが、京都市の土地利用の計画では、第2種中高層住居専用地域であり、現在の法律ではホテルやアリーナは建てられない。また、高さ制限があり、植物園は12m、その他は20mまでしか建てられない。1万人規模のアリーナであれば、おそらく20mを超える。法律に基づかないものを作ろうとしていると思うが、どうか。</p>	<p>この地域の都市計画の用途地域は承知しているところですが、まずこのエリアにどのようなものがふさわしいのかということについて、これまで議論し、検討してきたところです。今後、京都市と相談をしながら、法律等の枠の中で事業を進めていくことを想定しております。</p>